2003 年の VHF 帯電磁波観測総括と今後の展開

Deployment of the VHF electromagnetic wave observation generalization in 2003, and future

福島 毅[1]
Takeshi Fukushima[1]

[1] 行徳高
[1] Gyotoku high school

http://www.asahi-net.or.jp/~xr2t-fksm/sizen/zisin/zisin_main.html

行徳高校自然科学部では、1996 年より VHF 帯 49.5MHz）の自然電磁放射レベルを測定している。

2003 年には宮城・千葉・茨城県のエリアにおいて顕著な地震活動があり、それに先行した電磁波ノイズを検出したので、それらの観測結果を紹介する。

2003 年末からは通常の自然電磁放射の観測に加えて、流星電波観測（HRO）や、環境電磁波観測（大阪大学池谷研究室のご好意による）も平行して行っている。

新しく開始した流星電波データ（53.75MHｚ）や広帯域（100kHz～3GHz ）の環境電磁波観測データと従来から行ってきた 49.5MHz の自然然電磁放射観測とをデータ照合することにより、地震や他の自然起源・人工起源の現象とを分離する試みを行いたい。

また今後の予定として、多地点での観測、垂直偏波系アンテナによる観測、放送波などの人工起源のノイズを排除するためのニ周波法（吉田 2001）などを試みる予定であるので、それらの概要を紹介する。